

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

前回に引き続き、9月定例市議会のご報告をします。

1. 代表質問での主な質疑(その2)

○文化財を観光や教育に生かす戦略【松永鉄兵議員(新しい流れ)】

(議員)文化財を観光資源や教育資源として生かす戦略と今後の展開を伺う。市民が誇れる文化財を守り、生かすためにどのように取り組んでいくのか。

(教育振興部長)昨年、アイリンクタウンの45階展望室に市川の歴史年表を設置。曾谷貝塚や下総国分寺跡の保存活用・史跡整備に向けた計画策定では、観光的な観点や教育的な観点を議論の対象とし、専門家や地元代表の意見を聞いている。

○総合教育会議の市長の受け止め【丸金ゆきこ議員(地域政党チームいちかわ)】

(議員)総合教育会議において、教育委員会からの保護者支援の充実や負担軽減の5つの提案は、市長部局との連携が必要。市長としてどのように受け止めたのか。

(市長)提案は国の動向や先進市の状況を踏まえた市川市に必要な施策と認識。これらを尊重した上で、5つの観点から「市川市教育振興大綱」推進に向けた施策の具体化を依頼。教育委員会の提案による具体化パッケージに大いに期待。予算調整や部局間連携など、教育委員会と力を合わせて取り組む所存。

(総合教育会議における市長からの提案
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/common/pla01/file/0000493176.pdf>)

2. 一般質問での主な質疑(その1)

○不登校児童に対するeスポーツの活用【石崎ひでゆき議員(市民クラブ)】

(議員)「いつまでに」「どのような形で」不登校児童支援におけるeスポーツの具体的な取組を検討・実施するのか、明確な方針についての見解を伺う。

(学校教育部長)不登校児童生徒支援におけるeスポーツの活用の効果について、学術研究の成果を見極めて、必要があれば、eスポーツの活用について方針を検討する。

○今後の図書館像【宮本均議員(公明党)】

(議員)市川市が考える今後の図書館について見解を伺う。

(教育振興部長)現在、文部科学省では、デジタル社会への対応や読書バリアフリーといった課題を踏まえた基準の見直しに向けた検討を行っており、本市では令和8年度以降を目途に、この内容を盛り込んだ「図書館運営基本計画」の改定作業を行う予定。

○第三中学校南側斜面地整備工事の周知【つかこしたかのり議員(創生市川・自民党第1)】

(議員)工事は地域の安全確保に不可欠である一方、工事期間中は騒音や通行規制など周辺住民への影響が懸念される。近隣住民への周知方法について伺う。

(教育振興部長)今後、工事中は、現場付近に工事スケジュールを掲示するほか、重機の使用により通行に制限が発生する場合などには、案内文書をポストへ投函するなど、丁寧な周知に努める。

○今後のプール整備方法の考え方【中村よしお議員(公明党)】

(議員)今後、建替え予定の4校は、総合教育会議での市長からの提案を踏まえ、プールの整備についても調査・研究するとのことだが、早い段階で検討すべき。

(教育長)学校自らがプールの維持管理を行うことは必ずしも必要でない。学校の建替えなどに際し、民間スポーツクラブなどの利用や拠点化の検討を推進。なお、教育委員会が把握していない学校の様々な情報のうち、真に教育行政に必要不可欠なものは、学校現場の負担も勘案し、把握に努める。